

「第1期 静岡市がん対策推進計画」の中間見直し案について、静岡市市民参画の推進に関する条例に基づき、市民意見提出手続き（パブリックコメント）を実施しました。

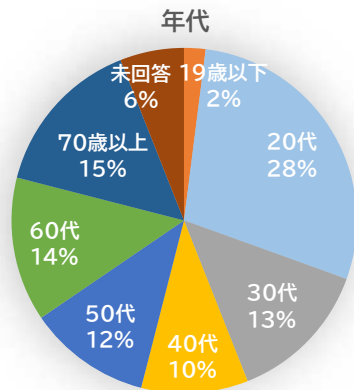
### 1 実施概要

- 実施期間 令和5年11月14日（火）～令和5年12月15日（金）
- 周知方法 保健衛生医療課窓口、各区の市政情報コーナー、各生涯学習センター、各生涯学習交流館、各図書館への配布、市HPへの掲載、報道機関への情報提供 等
- 提出方法 電子申請、郵送、FAX、持参

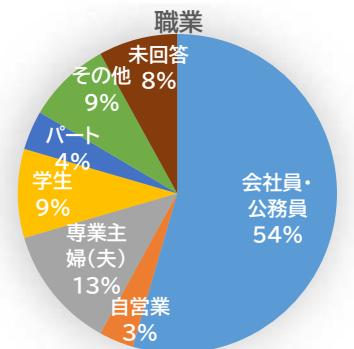
### 2 実施結果

- 提出人数 200人
- 提出意見数 234件

| 年齢    | (人) |
|-------|-----|
| 19歳以下 | 4   |
| 20代   | 57  |
| 30代   | 27  |
| 40代   | 20  |
| 50代   | 23  |
| 60代   | 27  |
| 70歳以上 | 30  |
| 未回答   | 12  |
| 合計    | 200 |

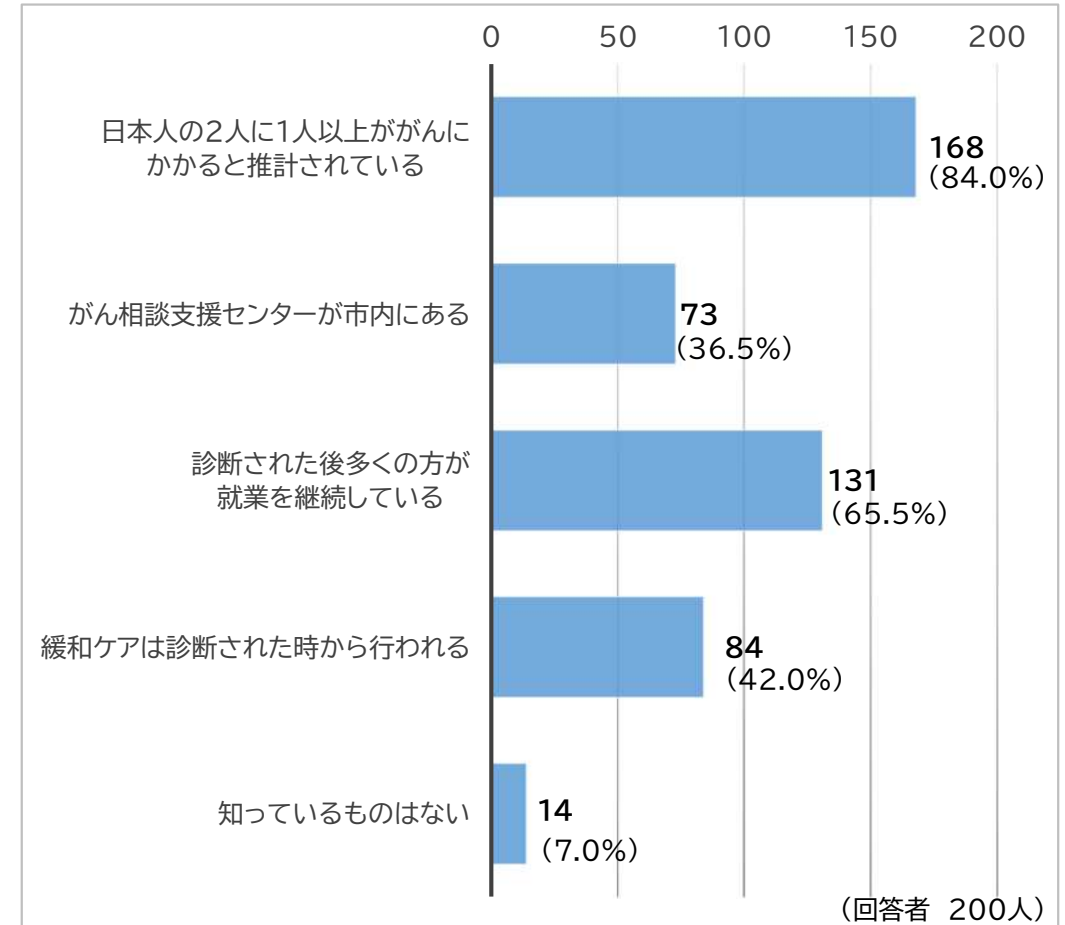


| 職業        | (人) |
|-----------|-----|
| 会社員・公務員   | 109 |
| 自営業       | 7   |
| 専業主婦(夫)   | 25  |
| 学生        | 18  |
| パート・アルバイト | 8   |
| その他       | 17  |
| 未回答       | 16  |
| 合計        | 200 |



### 3 ご意見

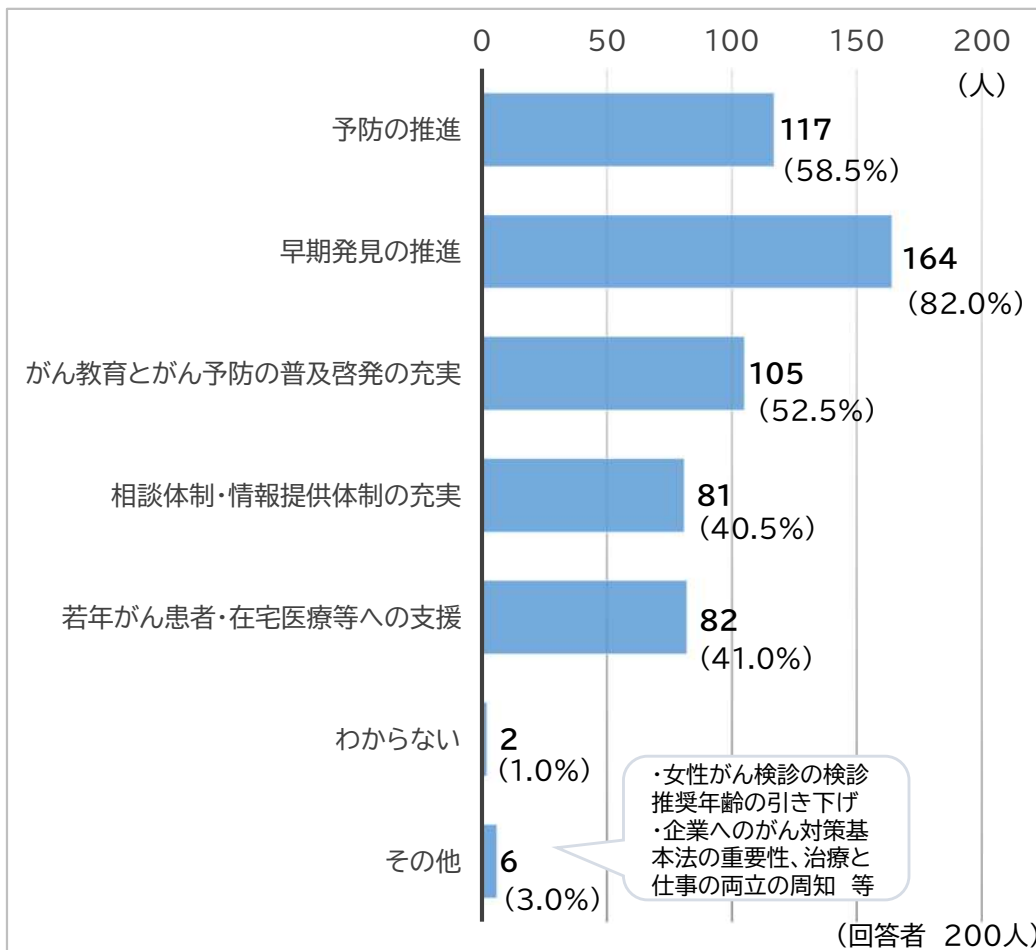
○問1 がんについてあなたが知っていることは何ですか（〇はいくつでも）



「日本人の2人に1人以上ががんにかかる」と推計されていることへの認知度は8割以上であったものの、「がん相談センターが市内にある」については、認知度が4割未満と低い結果となりました。

このため、今後のがんに関する知識の普及啓発の中で、重点的に啓発し、患者さんや家族ががん相談支援センターに繋がられるよう取り組みます。また、問3の自由意見欄に、「知らない事ばかりです。もっと積極的に情報を集めなければと思いました。」等の意見もあったことから、このパブリックコメント自体が、がんに関する正しい知識の普及啓発に寄与したものと考えています。

○問2 市民が積極的にがん対策に取り組むためには、静岡市はどういったことに力を入れたらよいと思いますか。（〇は3つまで）



市民が積極的にがん対策に取り組むために、本市が力を入れたらよいと思う項目について、最も多くの方が挙げたのは、「早期発見の推進」でした。また、その他の分野についても、それぞれ一定数の回答があり、今回の中間見直しにおいて小分野に位置づけたいずれの項目も関心が高いことが確認できました。

今回の中間見直しでは、「早期発見の推進」に関し、新たな事業として「がん検診の精度管理」を掲載するとともに、他の分野においても、それぞれ新規事業を追加し、一層のがん対策に取り組んでいきます。

○問3 その他のご意見・ご提案をご自由にお書きください。

| 分野ごとの意見           | (件) | 対応方針   | (件) |
|-------------------|-----|--------|-----|
| 全体                | 2   | ①反映する  | 14  |
| 予防の推進             | 16  | ②反映済み  | 82  |
| 早期発見の推進           | 51  | ③今後の参考 | 38  |
| がん教育とがん予防の普及啓発の充実 | 9   | ④反映しない | 13  |
| 相談体制・情報提供体制の充実    | 56  | ⑤その他   | 8   |
| 若年がん患者・在宅医療等への支援  | 13  | 合計     | 155 |
| その他               | 8   |        |     |
| 合計                | 155 |        |     |

※問3が無記入の方がいるため提出人数200人と一致しない。

「反映する」「反映済み」の主な意見

| 分野               | 主な意見  | 市の考え   | 対応   |
|------------------|---|--|------|
| 相談体制・情報提供体制の充実   | 私は20代男性ですが、がんへの心配はまだ先のことだろうと漠然と考えてしまっています。若年層でもがんにかかる可能性があることについて、自分事としては捉えられておらず、また自分以外に家族がかかったことなど、知らないことは多いと感じています。がんについて学べる機会があればぜひ参加したいと考えさせられました。 | ご意見を踏まえ、市民ががんを自分事として捉える必要性について追記しました。（計画P47）<br>ご自身だけではなくご家族のためにも、がんについての知識を身に付けていただけるよう取り組んでいきます。 | 反映する |
| 早期発見の推進          | がん検診受診を健康診断と一緒に受けようにする。時間がない方が多いです。   | 特定健診や後期高齢健診と合わせて受診できる医療機関を増やしていきたいと考えています。   | 反映済み |
| 相談体制・情報提供体制の充実   | がんになった時の不安を解消できる場が色々なところにあること、がんになってわかりました。   | がんに関する相談ができるがん相談支援センターの周知や同じ経験をもつ方々の交流会の場の提供など、がん診断された方に寄り添えるよう取り組んでいきます。                          | 反映済み |
| 若年がん患者・在宅医療等への支援 | 「ウィッグ・乳房補整具の助成」を静岡市で実施していただけて、安心しています。子育てや就労しながら治療される方にはとても重要なことなので継続していただきたいです。  | 引き続き、ウィッグ・乳房補整具の助成等、子育てや就労しながら治療される方の支援を行っていきます。   | 反映済み |

その他の意見については、別紙のとおり

「相談体制・情報提供体制の充実」の分野について、最も多くのご意見をいただき、中でも、がんに関する知識の普及啓発の必要性についてのご意見が目立ちました。

がんに関する知識の普及啓発については、今回の計画見直しで、新たに追加する予定の項目であり、今後積極的に取り組んでいきます。